

KITAGAWA SEIKI REPORT

第66期 事業報告書 2021年7月1日～2022年6月30日

証券コード: 6327

第66期 (2022/6) 財務ハイライト(連結)

売上高

前期比 **4.4% 増**

5,032 百万円

営業利益

前期比 **5.3% 減**

512 百万円

経常利益

前期比 **23.3% 増**

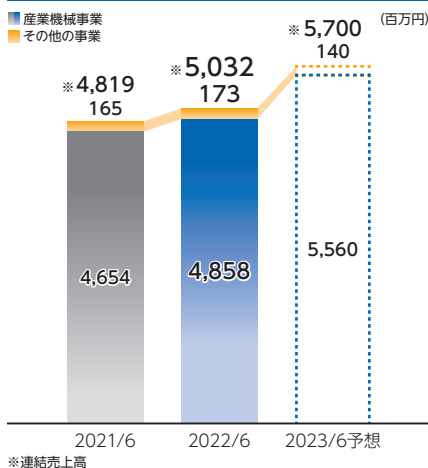
674 百万円

親会社株主に帰属する当期純利益

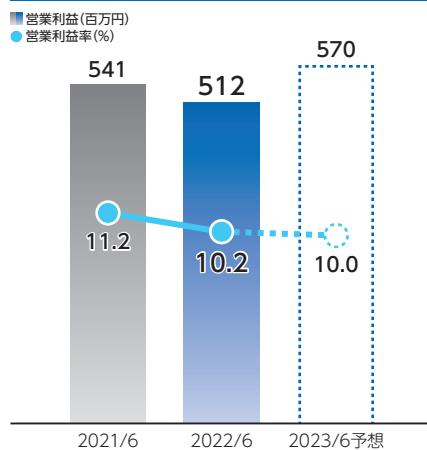
前期比 **19.4% 増**

588 百万円

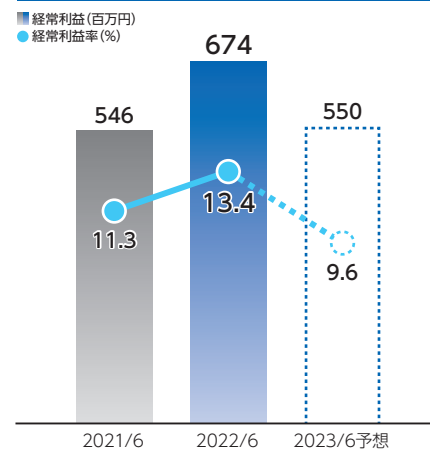
売上高(事業別)



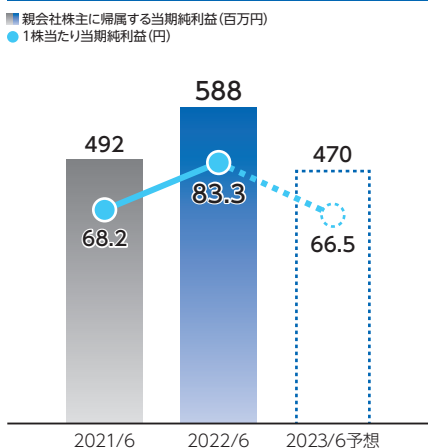
営業利益 / 営業利益率



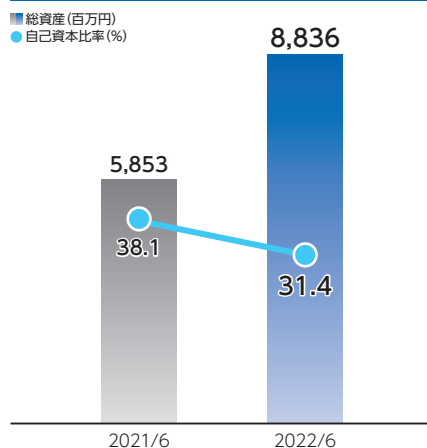
経常利益 / 経常利益率



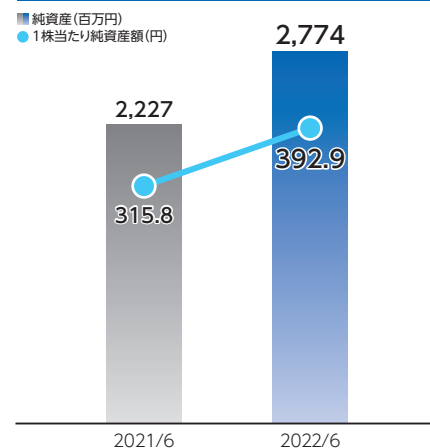
親会社株主に帰属する当期純利益 / 1株当たり当期純利益



総資産 / 自己資本比率



純資産 / 1株当たり純資産額



株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご支援を賜り、厚くお礼申しあげます。

当社グループは1957年の創業以来、時代とともに高度化・多様化するお客様のご要望にお応えしながら蓄積してきた当社独自の技術を基に産業機械分野において発展を遂げてまいりました。

今後も多彩な製品分野を、一つずつ進化する複合技術として捉え、「英知と創造」の北川精機に相応しい可能性を形にしていまいります。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援を賜りますよう、お願い申しあげます。第66期の事業概況と決算につきましてご報告申しあげます。

代表取締役社長 内田 雅敏



中期経営計画(2022/6月期～2024/6月期)1年目の進捗

当期のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に対するワクチン接種の進展により、徐々に持ち直しの動きがみられるものの、変異株の出現による感染再拡大やウクライナ情勢による原材料・海上運賃の価格上昇や急激な円安の進行など、先行きの不透明な状況は当社の業績にも大きな影響を与えました。

また、長期化するコロナ禍の影響は現在も継続しておりますが、その中で労働・教育・医療の分野におけるリモート技術の活用など、従来なら何年も掛かったであろうDXやIoT化の動きが急速に進みつつあり、プリント基板関連装置メーカーである当社にとって息の長い成長機会も現出しております。

このような状況のもと当社グループは、新たに中期経営計画「持続的進化への挑戦～社会と共に成長する強いKITAGAWA～」(目標2024年6月期：売上高5,300百万円、営業利益600百万円)を

スタートし、以下の3つの重点項目に取り組んでおります。

この結果、当期連結業績は、売上高5,032百万円(前期比4.4%増)、営業利益512百万円(前期比5.3%減)、経常利益674百万円(前期比23.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益588百万円(前期比19.4%増)となりました。

持続的進化への挑戦 ～社会と共に成長する強いKITAGAWA～

重点項目1

既存事業での技術的深化と新規事業への経営資源集中による持続的成長の岩盤造り

重点項目2

市場拡大に合わせた生産能力増強と収益性・競争力・製品/サービス品質向上の両立

重点項目3

活力溢れる強い組織作りとそれを支えるデジタル化の推進

環境変化に合わせ収益機会を確実に獲得
将来に向け持続可能な成長基盤を堅固に

TOPICS トピックス

当社テスト室が新しくなりました

当社工場内に設置してあるプレス・ラミネータ装置を用いて試作評価が行えるテスト室を「キタガワトライアルラボ」としてリニューアルいたしました。

これまでよりも広く快適な空間で、当社装置性能や成形プロセスの評価・検証の他、新製品開発のための試作成形が行えます。

またCFRTP自動積層装置も設置しており、お客様からのテスト依頼にお応えしております。

当社ホームページが新しくなりました

2022年4月より当社ホームページが新しくなりました。

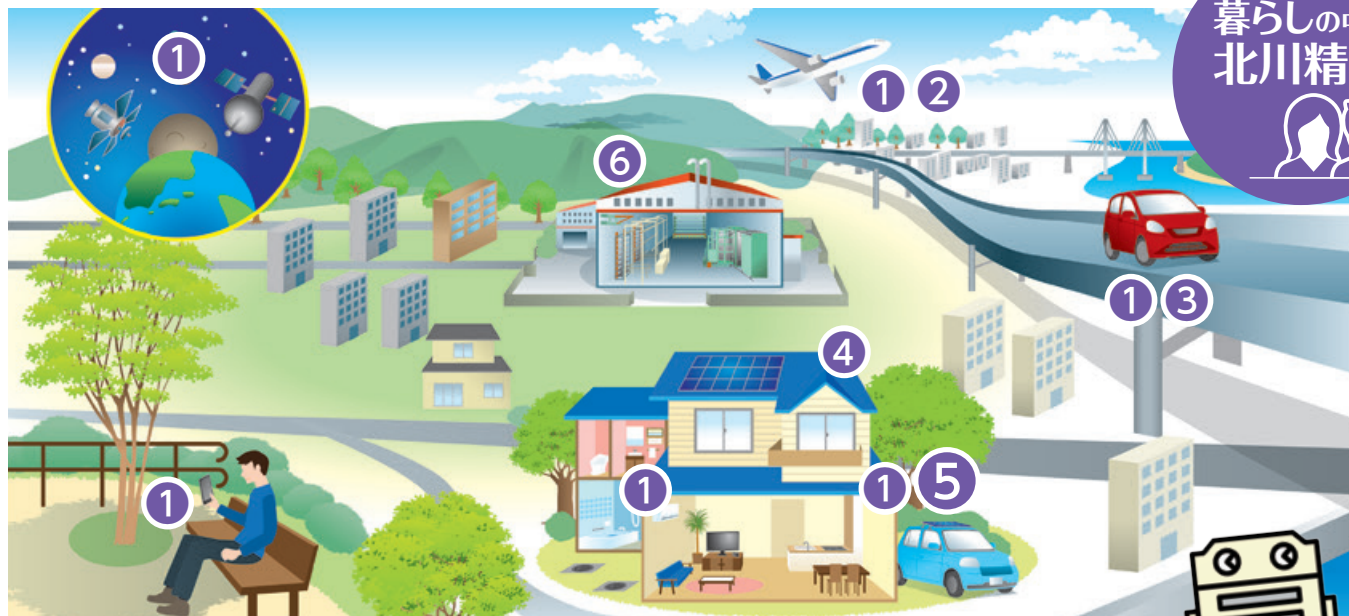
営業活動や採用活動において、北川精機の強みである顧客要求に応える対応力(柔軟性)とそれを支える技術力をアピールできるよう、迫力のある大型装置や現場の動画や写真、納入事例や技術コラムを新たに掲載いたしました。

今後も製品、採用、IR、サステナビリティに対する取り組みなどの情報を発信してまいります。

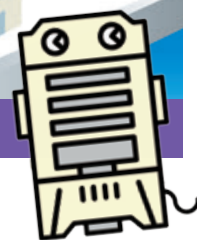


「プレスくん」





こんな製品も北川精機の装置で作られています



- ① 電子回路実装基板(プリント基板)
- ② 航空機構造部材
- ③ 自動車部品
- ④ 住宅資材
- ⑤ 家庭用品
- ⑥ 産業資材

5 日々の生活に欠かせないスマートフォンや家電、車、そして航空機や家庭用品、住宅資材や産業資材。これらの生産に当社の製品が使われています。例えば、駅で使われるICカード、店舗に設置してあるタッチパネル、ドア、ソーラーパネルにも当社の樹脂成形用プレス装置で作られたものがあります。当社の製品は、直接皆様の目に触れることは少ないですが、これからも縁の下の力持ちとして社会を支えてまいります。



事業別概況

産業機械事業



銅張積層板・多層基板成形用のプレス装置、自動車部品・樹脂成形用プレス装置、搬送機械など多様な案件を獲得し、受注は好調に推移しております。売上は計画どおり推移しましたが、鋼材価格上昇や調達部品の長納期化への対応として一部汎用品の在庫保有や受注時の早期発注などに努めたものの、一部案件で原材料価格が想定以上に上昇したことにより、売上高4,858百万円(前期比4.4%増)、営業利益494百万円(前期比6.3%減)となりました。



プリント基板(PCB)成形用プレス



鋼材用収納ストッカー

売上高

4,858 百万円

前期比 **4.4%** 増

営業利益

494 百万円

前期比 **6.3%** 減

その他の事業



油圧機器の売上が堅調に推移したことにより、売上高173百万円(前期比5.3%増)、営業利益21百万円(前期比72.0%増)となりました。



油圧ユニット

売上高

173 百万円

前期比 **5.3%** 増

営業利益

21 百万円

前期比 **72.0%** 増

株式の状況 (2022年6月30日現在)

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式の総数	7,649,600株
株主数	3,592名

大株主の状況 (2022年6月30日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
北川精機取引先持株会	731	10.35
内田 雅敏	579	8.20
北川 一子	486	6.89
株式会社広島銀行	347	4.91
河原 栄	262	3.71
内田 由美	230	3.26
MSIP CLIENT SECURITIES	208	2.95
株式会社マンセイ	142	2.01
河村 淨見	125	1.78
木塚 修一	121	1.72

(注) 持株比率は自己株式(586,289株)を控除して計算しております。

会社概要 (2022年6月30日現在)

商号	北川精機株式会社
本社所在地	広島県府中市鶴飼町800番地の8
設立	1957年1月14日
資本金	3億円
従業員数	146名(連結154名)
事業内容	プリント基板プレス装置、新素材プレス装置、ソーラーパネル成形用ラミネータ装置、FA・搬送機械の製造及び販売
営業及び生産拠点	本社工場(4棟) 広島県府中市 東京支店 東京都豊島区 大阪出張所 大阪市西区

子会社及び事業内容 (2022年6月30日現在)

ホクセイ工業株式会社	油圧機器の製造販売
北川精機貿易(上海)有限公司	当社製品の販売

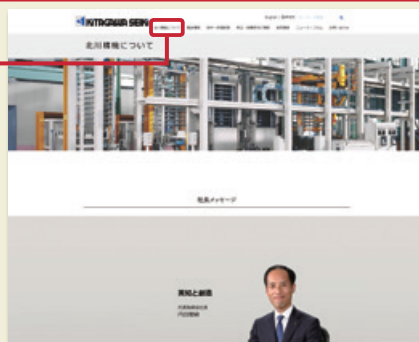
取締役 (2022年9月28日現在)

代表取締役社長	内田 雅敏	取締役(監査等委員)	信岡 成尚
代表取締役専務	内田 浩靖	取締役(監査等委員)	田邊 知士*
		取締役(監査等委員)	渡辺 純夫*

*取締役(監査等委員)である田邊知士氏及び渡辺純夫氏は独立社外取締役であります。

当社の情報はホームページでもご覧いただけます。

<https://kitagawaseiki.co.jp/>



会社案内



IR情報

株主メモ

銘柄コード	6327
事業年度	毎年7月1日から翌年6月30日まで
定時株主総会	毎年9月下旬
基準日	6月30日
単元株式数	100株

株主名簿管理人
特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

お問合せ先 〒541-8502
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777(通話料無料)

公告方法 電子公告は、当社のホームページ
<https://kitagawaseiki.co.jp/>
に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

【株式に関するお届出・ご照会】
住所変更等のお届出及びご照会は、口座を開設されている証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、左記のお問合せ先までご連絡ください。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。